



ALL JAPAN HIP HOP DANCE CHAMPIONSHIP

日本大会規定、規約

5~9 人編成クルー部門

ミニクルー部門

メガクルー部門

2019.12.24 版

HHI JAPAN 事務局

東京都港区浜松町 2-6-2 浜松町 262ビル (株式会社トッパントラベルサービス内)

TEL 03-4530-8462 (9:00-18:00 土日休業) FAX 050-3606-0943

E-mail hhijapan@tts.co.jp

<http://www.hhijapan.com>

HHI 公式ルール及び規約,規定について

HHI 公式ルール及び規約、規定のマニュアルは HIPHOP INTERNATIONAL(HHI)が定めたアメリカ及び HHI 加盟国の世界共通の規約、規定と競技ルールであり、WORLD HIPHOP CHAMPIONSHIP に参加する為に必要な条件です。

Hip Hop Dance Championships とは :

世界中のパフォーマーたちが HipHop ダンスの芸術性とテクニックを競い合う機会であり、テレビ、メディアの露出のチャンスという評判も高く、国ごとにタイトルを賭けて踊る世界選手権ともいえる競技ダンスイベントです。

Hip Hop Dance とは :

ヒップホップの定義を記述したものは何ひとつありません。ヒップホップはダンス分野と文化の融合と世界中で解釈されています。ヒップホップ演技は、見た目、音楽、ポーズ、姿勢とストリートスタイルなどユニークに取り入れています。ヒップホップダンスは、時代と共に起源のスタイルを基にその形の変化発展を続けています。

勝利するヒップホップ演技とは :

ヒップホップの演技において豊富なダンススタイル、ショーマンシップ、独自のシグネチャームーブ、人を引きつける音楽、身体全体（頭からつま先まで）を使った継続的なよどみないダンスの振付を披露し、体操競技、チア、アクロバティックな動きを過剰に取り入れず、行き過ぎた危険な動きが組み込まれていない場合に最高得点が与えられます。

HHI (Hip Hop International) とは :

Hip Hop International は 2002 年に設立され、ロサンゼルスを拠点としています。

数々のダンス大会をプロデュースし、こうした大会はライブ配信およびテレビ放送されています。

一例として MTV で放送されている Randy Jackson がプロデュースする America's Best Dance Crew、USA Hip Hop Dance Championship、World Hip Hop Dance Championship、World Battles、Urban Moves Dance Workshops などがあります。Hip Hop International は、世界中のライブイベント、ライブストリーミング配信、テレビ放送を通じて 100 カ国以上で名前が知られています。

Hip Hop International 本部 | 323.850.3777

8033 Sunset Boulevard, #920, Los Angeles, California, 90046

Info@hiphopinternational.com | www.hiphopinternational.com

なお、HHI は世界各国の HHI 正式認定ライセンス保有者によって運営されています。HHI 正式認定ライセンス保有者はヒップホップの起源を尊重し、HHI との契約のもとでイベント、大会を主催しています。そして HHI の世界大会への各国代表クルーを選考し、世界大会に派遣しています。

大会参加規約

参加条件

1. クルー（チーム）は HHI の定めた規約、規定及びルールを順守する。
2. 個人情報をお確かめ、国際的な世界規模のイベントにふさわしい各国の代表である事を保証できる者である。
3. 全てのイベントは、HHI 国内大会主催権を保持する HHI ライセンス保持者によって、HHI ルール及び規約、規定を使用して実行され、国内大会優勝クルー、あるいは、HHI 本部からの招待を受けたクルー、あるいは、国内大会主催者の推薦を受けたクルーが出場する。
4. 世界大会への出場クルーの数は各部門、各国 3 組までとする。
5. 但し前年度世界大会ゴールドメダリストが参加する場合は 4 組まで参加可能となる。
6. 世界大会参加者は各国の HHI オフィス（日本は HHI JAPAN）を通じて大会登録を実施すること。

クルーの構成

1. クルーの構成は 5 名から 9 名構成。各クラス定められた年齢内である事。
2. 男女の比率：男性のみ、女性のみ、男女混合等いずれも可能です。
3. メガクルーは、10 名から 40 名構成 構成で年齢、男女のいずれも制限はない。
4. ミニクルーは 3 名構成で年齢、男女構成のいずれも制限はない。

年齢別カテゴリー 年齢制限があるカテゴリーは以下です。

1. ジュニア：7 歳～12 歳
2. バーシティー：13 歳～17 歳
3. アダルト：18 歳以上
4. ミニクルー：7 歳～年齢制限なし
5. オーバー40：40 歳以上（日本大会のみ開催、優勝クルーは世界大会で特別パフォーマンス披露の資格がある。）
6. メガ：年齢制限なし 年齢の組み合わせも自由

年齢必要条件

1. 世界大会に参加する際は、現在の年齢を大会前に、パスポート、免許書等の生年月日により確認をします。
2. 年齢の判断基準は、大会のある年の 1 月 1 日～12 月 31 日までの年齢が対象となります。
3. 年齢が、2 つのカテゴリーにかかるクルー及び個人は、自分の年齢が入っているどちらかの部門を選択し参加可能です。
4. 1 クルーに、最大 2 名まで年齢が下のカテゴリーから上のカテゴリーへの編成に加える事が可能です。
しかし、上から下へのカテゴリーへの参加はできません。
5. クルーメンバーは 1 クルー部門にのみの参加です。メガ部門はダブルエントリー可。
6. 大会年度（12 月 31 日まで）内に 2 つの年齢部門に該当するクルーメンバーは、その年度内はいずれかの部門に参加することができます。以下の例を参照してください。
例：12 歳のメンバーが大会年度（12 月 31 日まで）内に 13 歳になる場合、ジュニア部門またはバーシティー部門、**どちらかを選んで参加することができます**。同様に大会年度（12 月 31 日まで）内に 17 歳から 18 歳になる場合、バーシティー部門またはアダルト部門、**どちらかを選んで参加することができます**。

国籍（世界大会参加）

1. 代表になった国の市民権を有する又は住居者であること。
2. 市民権または在住証明は、パスポート、免許証等で世界大会前に確認をします。
3. 留学生、駐在員等は最低 6 カ月、日本に住んでいる事を公式書面にて証明します。
4. 連続する 3 年以内に 3 カ国以上の国で大会・予選に参加する事はできません。
5. クルーメンバーは同じイベントや同じ年に 2 カ国の代表者として参加することはできません。

注：国籍証明を適切に提出できない場合、参加資格のはく奪、一時停止、HHI が必要と判断する厳しい処分の対象となる場合があります。

クルー名について

1. 攻撃的またはわいせつと判断されるクルー名は認められません。イベント主催者は、不適切なクルー名を拒否し、HHI 基準に照らして受け入れ可能な名前にするよう求める権利を有しています。

クルーメンバー資格の一時停止/はく奪

1. クルー、クルーメンバー、またはクルーの代理人が個人情報や国籍証明書を改ざんしていた場合、参加資格のはく奪、一時停止等厳しい処分の対象となります。

リリース

1. 大会参加者のテレビ放映、映画、ビデオ、インターネット等、メディア関係の全ての権利は HHI および HHI JAPAN に属する事を承認する。

メンバー変更

1. 病気、怪我等やむおえない理由でメンバー変更を行う場合は、必ず事前に大会主催者側に連絡して許可を取ること。
2. メンバー変更及び補欠要因は下記とする。
5 人～6 人編成クルー：2 人までの補欠要員、メンバー変更が可能。
7 人～9 人編成クルー：3 人までの補欠要員、メンバー変更が可能。
ミニクルー：1 人変更可能
メガクルー：オリジナルメンバー数の 3 分の 1 まで変更可能

申込に関する規定

1. 受け付け方法、参加費は参加要項に準じます。
2. 必要事項を全て記入した上で同意書に署名してください。18 歳未満の参加は必ず保護者の署名が必要です。
3. 申込書の提出と参加費の振込は期日厳守とします。振込済みの順番は演技の順番が後ろからになります。

演技の順番について

1. 順番は以下とし、詳細な時間等は 1 カ月前をめぐにご連絡します。
ジュニア→バーシティー→オーバー40→アダルト→ミニ→メガ
2. 演技は各クラス申込振込が遅いクルーからスタートします。

演技床エリア

1. 9.1m四方 (メガクラスは1 2 m x 1 2 m)
2. 基準線のラインはテープを貼りますが、ラインを踏む、はみ出すは源点対象ではありません。

演技時間

1. ジュニア&ミニ:1分30秒 (1分25秒~1分35秒以内)
2. バーシティー&アダルト:2分 (1分55秒~2分05秒以内)
3. メガ:3分30秒 (3分~4分以内)
4. オーバー40:2分15秒
5. なお、最初の可聴音 (頭出しのビーブ音を含む) を演技の始まりとし、最後の可聴音で終わりとします。

衣装について

1. 衣装は、パフォーマンスの特徴及びスタイルを反映しているものと考えます。
実在人物が着用していたものや、実際に町中で着用されているストリートファッションが反映されているスタイルであるレース、紐が多く付いているもの、裾を引きずるような物等、危険や迷惑が想定されるものは減点対象
2. メンバー全員が揃った服又は似たものを着用する必要はありません。
3. 個性的な衣装は効果的ですが、あまり劇場的な衣装はストリートファッションとしては推薦できません。
例:ハローウィン、キャラクター、動物等。
4. 帽子 (ハット)、キャップ、バンダナ、手袋、スカーフ、アクセサリ等は着用できます
5. 攻撃的でなく、作品イメージに合っている場合に限り、パフォーマンス中に衣装を取り除く等は可能です。但し、脱ぎ捨てた衣類は、演技エリアの外に置いてください。(置いた衣装を踏んで滑ってけがをしないため)
ステージ上から観客に向かって投げる事、舞台袖に放り投げることは禁止です。
6. 衣装においては過激なもの、危険を伴うもの(尖った金属等が付着しているもの)やキャラクター商品は避ける事。
7. 常にクルーメンバー全員が適切な下着を着用しなくてはなりません。短すぎる衣装やタイトすぎる衣装は精査対象となり、特に身体の特長部分を過度に露出するものや年齢にそぐわない場合は不適切と判断される場合があります。
8. 5~9人クルー、ミニクルーは、服装として必要と考えられない小道具の使用は禁止。
メガクルーは小さく、手に持てる物、移動が簡単なものなど演技に必要と考えられ、関連性のあるものは使用可能です。
例えば、杖、ライト、小物入れ、面白グッズ、リュックサック、ロープ、紐、小さい楽器等は可能。
机、階段、椅子、家具、バックセット等は禁止。
9. 靴については使用可能なものと使用不可のものを設定します。
使用可能: ダンス、厚底ブーツ、ストリートシューズ、スニーカー、スポーツシューズ運動靴
使用不可: タップシューズ、ジャズシューズ、ハイヒール、サンダル、スリッパ、素足、下駄、雪駄、草履、足袋等
10. 顔全体の行き過ぎたメイク、ボディーオイル、ボディーペイント、身体、髪の毛のラメ等の使用は禁止。
11. ヘルメットはパフォーマンスの中で、ヘッドスピンなど必要なパフォーマンスの時だけ着用し、終了後はエリア外に置く。
12. 上半身裸や、露出度の高いものはNGとし、減点対象とする。
13. 靴は常に清潔な状態で使用し、床を汚すような事は避けてください。床面を傷つけるような靴の使用、行為も禁止。
14. HHI ではメガクルーのみ小道具が演技に意外性や創造性を持たせることができることを認めています。
小道具利用の有無は慎重に検討し、利用する場合はその小道具が受け入れ基準を満たしていることを確認し、大きく減点されることのないようにしてください。膝あて等は動きの安全性とパフォーマンスを援助するもので装着は可能です。
規程に沿うものかどうかご不明の場合はE-mailで事務局に確認ください(秘密厳守とします)
(hhijapan@tts.co.jp <http://www.hhijapan.com>)

パフォーマンスに使用する音源、音楽について

1. パフォーマンスに使う音源は、各クルーが用意した音源を使用します。主催者側からの音楽の指定、提供はありません。それぞれの音楽の品質、ミックス、サウンドレベルにはクルー自身が責任を負うものとします。
2. 音楽の長さは、以下とします。
ジュニアクラス&ミニクルークラス：1分30秒（1分25秒～1分35秒以内）
この範囲内に最短20秒の全く編曲されていない、効果音もいれていない連続した音楽を入れ込む事を推奨。
バーシティークラス：2分（1分55秒～2分05秒以内）
この範囲内に最短20秒の全く編曲されていない、効果音もいれていない連続した音楽を入れ込む事を推奨。
アダルトクラス、オーバー40：（1分55秒～2分05秒以内）
この範囲内に最短30秒の全く編曲されていない、効果音も入れていない連続した音楽を入れ込む事を推奨。
3. パフォーマンスで使用する音源は、必ずMp3で提出してください。
ファイル名には必ずクルー名と部門を明記してください。
また音源の提出はHHI JAPAN 事務局宛に期日までに必ず送付してください。
4. 使用音楽の曲数の規制はありません。歌、音楽は振付とパフォーマンスを強化するために編集されるものと考えます。しかし、審査員は一連のダンスにより集中できるとして、複数の楽曲を選曲／ミックスするよりは数が少ない方が望ましいとの見解を示しています。
5. オリジナル効果音、オリジナル音楽の使用は可能です。但し、注意しなくてはいけないのは、効果音や音楽をあまり複雑に編集しすぎると却ってパフォーマンスの表現や正確さを損ねて得点にマイナスになりかねません。
審査でできるだけ高得点を得られるよう、演技に編集や音響効果を加えない連続した音楽のセグメントを入れることを強く推奨します。ジュニアクルーおよびミニクルーの場合、演技のいずれかに連続した編集を加えない音楽を最低20秒入れることを強く推奨します。バーシティークルーおよびアダルトクルーの場合、演技のいずれかに、連続した編集を加えない音楽で構成された30秒以上のセグメントを**1つ以上入れることを推奨します。**
6. 使用音楽は、わいせつ、攻撃的等不適切な言語を含んではいけません。イベント主催者は、不適切、わいせつ、または攻撃的な言葉が入った音楽を拒否する権利を有しています。
「疑わしい時は取り入れない」を徹底し、不適切な単語や言葉を入れて減点対象にならないようにしてください。
7. 世界大会では、準決勝、決勝に進むクルーが毎回音楽を変える事は可能。各大会前夜までにディレクターを通じ提出。
8. 日本大会では締切以降、当日までの音源変更は基本的にできません。
9. 出場者は、使用音楽の情報として以下を大会開催前に主催者に提出します。
タイトル、アーティスト、作・編曲者、再生時間
10. 著作権の問題から大会で使用した音楽が、テレビ、フィルム、劇場等で配信、上映する際に使用できない場合があります。その場合の曲の選択権利は主催者側に帰属し、主催者側で、著作権的に問題のない曲に差し替えます。

競技開始に関する規定

1. クルー全員が舞台上で同時に演技を開始する。
2. 演技開始は、必ずステージ上で板付きからスタートしてください。
また、メガクルー部門では、開始・終了時、最低 30 秒はメンバー全員で演技すること。
3. 大会中クルーは自由に舞台に入る事はできません。
4. 演技中ステージ袖への出はけ、舞台を下りたり登ったりはできません。メガクルーは演技途中の出はけはOK、舞台を下りたり登ったりはできません。
5. 舞台袖のスタッフから、指示が出た後、15 秒程度でスタート位置につく事。
6. スタート位置に立つ前の行き過ぎたイントロダクション表現や、ステージ上での 10 秒を超えるデモンストレーション行為は、演技開始の前倒（プレスタート）と判断しその分の時間を差し引きます。
7. 出場の名前を呼ばれた後スタート位置に着くまでに 60 秒以上かかった場合は失格となる。
8. スタンドプレー（演技開始前、後の過度なポーズ）は減点となる。

特殊事例の対応について

1. 特殊事例とは演技の冒頭またはあらゆる時点で、クルーのパフォーマンス能力に影響する状況が発生することであり、クルーの管理が及ばないものを指します。
 - a. 誤った音楽が流れた、またはその合図が出た
 - b. 機材故障による音楽のトラブル
 - c. 照明、舞台、サウンドなど一般的な機材トラブルによる妨害
 - d. パフォーマンス直前またはパフォーマンス中に、演技エリアにおいて、クルー以外の人物あるいはその他の方法により、あらゆる異物の侵入や混乱が生じた場合。
 - e. 会場の障害または運営条件による中断
2. ダンスクルーは、特殊事態が生じた場合、速やかに演技を停止する義務を負っています。
3. イベント主催者、審査ディレクター、審査員長は状況を確認して判断を下し、問題が解決され次第、クルーをステージ上に呼び戻し演技を再開させます。審査ディレクターまたは審査員長が、クルーの申告内容が事実無根であると判断した場合、クルーはパフォーマンスの再開を許されますが、1.0 点が減点されます。
4. 演技終了後にクルーから特殊事態の申告があっても受け入れられることはなく、確認も行われません。
5. ジュニア部門のみ、指定されたリーダーにレッドフラグが渡されます。このクルーリーダーはステージの横につき、特殊事態が発生したと考えられる場合にはレッドフラグを振り、クルーに演技を停止するよう警告します。その特殊事態がイベント主催者の過失によるものと判断された場合、クルーは減点されることなく演技をやり直すことを許されます。クルー側の過失であると判断された場合、クルーは演技のやり直しを許されますが、1.0 点が減点されます。

審査に関して

1. 審査は10点満点で計算されます。
2. 10点の内訳は、芸術点50%、技術点50%です。
3. 審査は、芸術点担当審査員、技術点担当審査員に分かれて、それぞれの分野だけを審査基準に則って審査し、合計点で順位を決めます。
ヘッドジャッジは審査進行具合を調整し、リストにある減点の有無を見ます。
テクニカルジャッジはヘッドジャッジをサポートし、審査マニュアルの教育トレーニングを担当します。
4. 世界大会時は芸術点審査員4名、技術点審査員4名、ヘッドジャッジ1名、テクニカルディレクター1名編成。
国内大会の編成はこの比例で調節できる。
5. スコアの計算
芸術点 技術点審査員各3人編成時は、3人の合計点を3で割って平均点を出し、総合点を出す。
各4人ずつの編成時は、4人の中の最高点、最低点を除外して、残り2人の平均点を出し、総合点を出す。
たとえば、振付もショーマンシップも素晴らしいが、技術力レベルが伴わない場合、またその反対にスキルは素晴らしいが、芸術面、振付等が伴わないと、高総合得点になりません。また、メカクルー部門の場合は、素晴らしいスキルを一人一人が持っていても、全体の動きとしてみたときに、まとまりがかけられている場合、最高得点では及ばない可能性があります。各分野でポジティブな評価を受け、至らなかった原因も合理的に把握して頂いて次回に備えて頂くための明確なフェアな審査となっています。
6. 総合点が同点の場合は下記の順で順位が決まります
 - a. 芸術点の一番高いクルー
 - b. 技術点の一番高いクルー
 - c. 審査員のオリジナルランク付けを分析
7. 審査の結果への抗議（プロテスト）は禁止。また不平、不満、ゴシップを言わない事。

医学上の注意とその他の注意事項

各クルーのコーチ&リーダーは参加者の健康と安全を守るために下記を守ってください。

1. 各クルーのコーチ&リーダーは、クルーメンバーの怪我や病気を HHI JAPAN に大会前に報告する義務があります。
2. 演技前、演技中如何なる場合でも、クルーメンバーが病気や怪我で健康状態が危険と判断した時は、大会主催者は競技への出場への断念と失格を通告する権利を有しています。
また、時として、チームメンバーの参加に対し、医師の診断書を要求することがあります。
3. 参加者は、自分の健康に責任を持ち、万が一の事故、病気対策として自己責任の対策を取っておくこと。
4. 本大会中の、所持品の盗難、紛失物、破損に関しては一切責任を負いかねます。
各クルーの管理を徹底し、主催者側に対してそれらの責任を追及しない事。
5. 本大会参加者の肖像権は、主催者側に帰属します。従って、本大会のビデオ、DVDの販売、広報活動の二次利用物に使用する為の撮影、録画、記録及び使用の場合の著作権は主催者側に帰属します。
6. 参加費のキャンセルの払い戻しは致しません。
7. 本大会会場へのビデオ、カメラの持ち込み及び撮影は禁止です。
8. 本大会当日の注意事項を守ってください。
9. 参加選手は、事務局にて、全員スポーツ安全保険またはイベント保険に加入し、万が一の安全対策に備えます。

世界大会に関する追記

世界大会は、国際的かつ世界レベルの大会です。参加者はそのことを意識し責任ある態度で臨むこと。

1. 世界大会では、大会開催前に、レジストレーションが済み次第、各クルーは国ごとの予約順番に従って、ステージ上での音合わせのリハーサルが有ります。その後の練習も、各国の予約に従って各部屋で練習が何度もできます。
2. 世界大会のアメリカ本部への参加申込は、各国の HHI を通してのみ受け付けます。日本は HHI JAPAN。
3. 各国選手代表団として、HHI 本部と正式契約のあるオフィシャルツアー担当会社（日本はトッパントラベルサービス）が全てのレジストレーション作業を速やかに行い、ツアーを用意します。
選手団、応援はオフィシャルツアーでの参加となります。

世界大会参加における申請書および承諾書

1. 参加者はすべての登録申請書に記入し署名しなくてはなりません。登録申請書は適正な参加費用を添えて期限までに国内の HHI 支部に提出しなくてはならず、期限を守らない場合は登録を拒否される場合があります。
2. 免責承諾書：参加者は大会前に免責承諾書に署名し提出しなくてはなりません。
これは HHI イベントまたは大会の前後および期間中に参加者が被った事故または傷害について、HHI、主催者、その代理業者、役員、スタッフ、スポンサーを免責するものです。
3. 肖像権に関する承諾書：参加者は肖像権に関する承諾書に署名し提出しなくてはなりません。これは HHI、HHI 支部、主催者、代理業者、スポンサーに対し、参加者のパフォーマンスやイベント参加の様子を撮影、録画、記録し、あらゆる形式のテレビ、映画、ホームビデオ、インターネット、ソーシャルメディア、ラジオ、プレスリリース、メディア、広報活動、およびその他の現在知られていない、または今後作成される宣伝／メディア媒体で利用することを許可するものです。

世界大会のクルーメンバーの変更・追加・交代

1. イベント登録申請書（その後のオンサイト登録）に記載されているクルー、ミクルー、メガクルーの全メンバーは、大会開始時点で全員揃わなくてはなりません。HHI は、正当な理由およびイベント主催者の承諾なく、大会のラウンドごとにクルーメンバーを変更することを禁じています。大会中に競技するクルーメンバーが揃っていることを確認します。
2. 承諾を得ずに、登録内容からクルーメンバーの人数を変える、またはメンバーを交代したクルーは、参加資格のはく奪、一時停止、HHI が必要と判断するその他の処分の対象となります。大会開始後のクルーメンバーの交代または追加は、合理的で正当な理由がある場合に限り認められます。交代や追加が認められるごとに追加の参加費用が必要になります。

前回チャンピオンの参加について

前回チャンピオンとは、前年度の大会で「ゴールドメダル」を獲得したクルーであり、タイトルを防衛するために再び大会に参加することができます。前回チャンピオンは準決勝ラウンドで演技を発表し、採点されることになります。準決勝ラウンドが行われない場合、予選ラウンドで演技し、採点されます。決勝ラウンドには準決勝を通過したクルー、および該当すれば前回チャンピオンが参加します。前回チャンピオンは自動的に決勝ラウンドに進み、演技順序は最後になります。

世界大会のラウンド構成

1. 大会は1回戦（決勝のみ）、2回戦（予選および決勝）、または3回戦（予選、準決勝、決勝）形式で実施され、ラウンド数は、参加するクルー数、大会に割り当てられている時間に基づきイベント主催者が判断します。勝ち上がるクルーの合計数は、以下のように決定されます。
2. 2回戦形式の場合：予選および決勝を実施
予選から決勝への進出条件
 - クルー数が1～10 最大5クルー+前回チャンピオン
 - クルー数が11～15 最大7クルー+前回チャンピオン
 - クルー数が16以上 参加クルーの最大50%+前回チャンピオン
3. 3回戦形式の場合：予選、準決勝、決勝を実施
予選から準決勝に進出するクルー数は参加クルー数の最大50%です
準決勝から決勝への進出
 - ジュニア部門 最大5クルー+前回チャンピオン
 - バーシティー部門 最大7クルー+前回チャンピオン
 - アダルト部門 最大7クルー+前回チャンピオン
 - ミニクルー部門 最大5クルー+前回チャンピオン
 - メガクルー部門 最大7クルー+前回チャンピオン
4. クルーの演技順序
 - 予選 イベント主催者がコンピューターによりランダムに順序を決定します
 - 準決勝* 予選スコアの低い順番に演技をします
 - 決勝 予選または準決勝スコアの低い順番に並べ、前回チャンピオンを加えます

*準決勝ラウンドの開催可否はイベント主催者が判断します。

HHI JAPAN